2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	運動療法Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	3階実技室
担 当 教 員	岩田　秀治	実務経験とその関連資格	理学療法士、障がい者スポーツトレーナーに従事(デフバレー他)、専門学校講師			

《授業科目における学習内容》

医療機関での就職を希望する学生だけではなく、基本的なリハビリテーションの知識や技術について理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)から授業の理解度を総合で示す。
授業内に実施する小テストを加味する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

独自の配布資料

《授業外における学習方法》

予習復習に関しては主として解剖学を中心に行ってください。

《履修に当たっての留意点》

講義だけではなく実技も行いますので動きやすい服装で臨んでください

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法の定義を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	代表的な運動療法の紹介		
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	運動療法の定義を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	代表的な運動療法の実施		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	運動の種類①		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	運動の種類②		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節可動域運動を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	運動の種類③		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節可動域運動を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	運動の種類④		
第7回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動の質について理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動①		
第8回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動の質について理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動②		
第9回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動の量について理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動③		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋力増強運動の量について理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動④		
第11回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディ	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動⑤		
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディ	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	筋力増強運動⑥		
第13回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節可動域を決定する要因を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動①		
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節可動域を決定する要因を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動②		
第15回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節可動域を決定する要因を理解する	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動③		

2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	スポーツ科学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	運動療法Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60(2)　時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	3階実技室
担 当 教 員	岩田　秀治	実務経験とその関連資格	理学療法士、障がい者スポーツトレーナーに従事(デフバレー他)、専門学校講師			

《授業科目における学習内容》

医療機関での就職を希望する学生だけではなく、基本的なリハビリテーションの知識や技術について理解を深める。

《成績評価の方法と基準》

出席点(20%)・平常点(10%)・試験(70%)から授業の理解度を総合で示す。
授業内に実施する小テストを加味する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

独自の配布資料

《授業外における学習方法》

予習復習に関しては主として解剖学を中心に行ってください。

《履修に当たっての留意点》

講義だけではなく実技も行いますので動きやすい服装で臨んでください

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第16回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	関節可動域を決定する要因を理解出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動④		
第17回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディを理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動⑤		
第18回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ケーススタディを理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	関節可動域運動⑥		
第19回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	THAについて理解出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者のリハビリテーション①		
第20回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	THAについて理解出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	高齢者のリハビリテーション②		

授業の方法		内　　容			
第21回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PNF上肢パターンを理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	PNF①		
第22回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PNF下肢パターンを理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	PNF②		
第23回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PNF肩甲帯パターンを理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	PNF③		
第24回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	PNF骨盤帯パターンを理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	PNF④		
第25回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ACL損傷について理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツリハビリテーション①		
第26回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	ACL再建術後のリハビリテーションについて理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツリハビリテーション②		
第27回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	半月板損傷について理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツリハビリテーション③		
第28回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	半月板損傷術後のリハビリテーションについて理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	スポーツリハビリテーション④		
第29回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本講義の内容全般について理解し出来るようになる	配布資料	本講義の内容を復習し分からない箇所に関しては質問を行うことが出来るように準備しておく。
		各コマにおける授業予定	まとめ		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	本講義の内容全般について理解し出来るようになる	配布資料	本科目の内容を復習し現場を想定しておく。
		各コマにおける授業予定	まとめ		